

市議会だより

若者が活躍できるまちへ

～「(仮称)大分市若者参画条例」の制定に向け調査研究しています～



ソファを改良する建築科の学生



地域で様々な活動に参加する若者



絵本の読み聞かせをする高校生



手作りの防災マップを配布

CONTENTS
おもな内容

**若者を対象とした
取組について
掲載しています**

**P2-3 クローズアップ議会
議会の目**

**P9 ステップアップ
市議会だより**

クローズアップ議会 議会の目	P2~P3
一般質問 ー市民の声を反映ー	P4~P8
ステップアップ市議会だより ～若年層との意見交換について～	P9
常任委員会審査結果	P10
第4回定例会議決結果 請願・陳情審査結果	P11
賛否一覧表 編集後記	P12

令和3年第4回定例会の概要

開会日（11月30日）

会期を12月14日までと決定し、大分市ふれあい交流宿舍のつはる西部の築校条例の制定についてなど48議案を上程し、市長の提案理由説明を受けました。また、子育て世帯への臨時特別給付金給付に係る令和3年度大分市一般会計補正予算（第5号）を先議し、可決しました。

一般質問（12月6～8日）

24名の議員が、コロナ禍での事業者等への支援や通学路の安全対策などについて質問しました。また陳情1件を上程し、議案とともに各常任委員会に付託しました。

P.4へ

地域コミュニティ創造事業による人材の育成と確保はどのようにするの？

P.5へ

西大分エリアの今後の観光振興はどうするの？

P.6へ

橋梁点検における新技術の活用はどうかっているの？

P.7へ

整備が困難な通学路の安全対策はどうかっているの？

P.8へ

イエロードッグプロジェクトを広める取組としてはどう？



「(仮称)

大分市若者参画条例」の制定に向けて調査研究を行っています



議員政策研究会
推進チーム
座長 田島 寛信

大分市議会議員政策研究会では、昨年6月に政策課題を「(仮称)大分市若者参画条例」に決定し、具体的な調査研究を行う推進チームを中心に、本年12月の条例制定に向けて取り組んでいます。

これまでの活動としては、昨年7月には、関東学院大学の津軽石昭彦教授をお招きし、全議員を対象に「議員提案条例をつくらう！」と題して御講演いただくとともに、推進チームと意見交換を行い、貴重な御意見をいただきました。

なお、推進チームでは、昨年8月から10月にかけて、他市の条例や関係法令などを確認するとともに、本市の若者の現状や施策について執行部から説明を受けました。また、本市の若者の人口が減少傾向にあることや、進学や就職を機に若者が県外に流

出していること（下段を参照）など、若者を取り巻く現状やそれを踏まえての課題等について整理を行いました。

その後、10月には、爽風館高校で行われた若年層との意見交換において、「(仮称)大分市若者参画条例」をテーマの一つとして意見交換を行いました。

11月からは、若者や若者に関係する団体と意見交換を行っています。任意団体 Connective Impactをはじめとする皆様からたくさん御意見をいただいております。今後の条例づくりの反映させていただきます。



任意団体connective impactとの意見交換の様子

大分市の若者（15歳～29歳）の人口動態



進学や就職を機に大分市から流出

大分市の高校生の大学等への進学
県内 36.8% 県外 63.2%

県内大学卒業後の就職先
県内 30.4% 県外 69.6%

※大分県の統計資料
(令和2年度大分県新規学卒者実態調査 統計表から引用)

若者を取り巻く現状

委員会審査(9・10・13日)

各常任委員会では、議案、請願・陳情など付託された案件の審査を行いました。

議案をピックアップ

大分市ふれあい交流宿舎のつづる西部の楽校条例が制定されました。

Pick UP

議第136号

(文教常任委員会)

この議案は、自然に囲まれた美しい景観を活かした、人々がふれあう交流の場を提供することにより、社会教育の推進を図るため、旧野津原西部小学校跡地に整備する宿泊型社会教育施設の設置及び管理について必要な事項を定めようとするものです。

閉会日(14日)

各常任委員長が付託議案等の審査結果の報告を行い、質疑、討論、採決の結果、委員長報告のとおり可決しました。その後、議員提出議案を可決し、閉会しました。

若者が議会にやってきました!

若年層に特化した議会モニター制度に取り組んでいます。

大分市議会では、若者の政治参加意識を喚起し、市議会への関心を高めてもらうとともに、若者の意見を議会活動に反映させ、議会機能を充実強化することを目的として今年度から新たに「若年層に特化した議会モニター制度」に取り組んでいます。

この取組は、定例会中の会議など、ふだん目にするのではない議会の様子を若者に実際に目にしてもらおうというものです。

概要としては、モニターに臨む前に、事前説明を含む意見交換を行い、その後、定例会中の会議を傍聴してもらいます。そして、再度、活動の振り返りを兼ねた意見交換を行います。

今年度は、第3回定例会で芸術文化短期大学の学生4名、第4回定例会で大分大学の学生15名が参加しました。

傍聴の際は、本会議、委員会での議論など、生の議会の雰囲気を感じてもらうとともに、意見交換では、学生ならではの率直な御意見をいただきました。

若年層に特化した議会モニターの流れ

Step1 意見交換(1回目)

@大学構内

- 議員・学生の自己紹介
- 議会の仕組みなどの説明
- 学生との意見交換
(モニタリング前の議会の印象など)

Step2 定例会モニタリング

@議場、委員会室など

- 本会議及び委員会の傍聴
- 本会議のインターネット中継の視聴

Step3 意見交換(2回目)

@大学構内

- 学生からの意見発表
- 学生との意見交換
(モニタリングを終えての感想
議会・議員へのメッセージなど)



爽風館高校との意見交換の様子

会場アンケート

市議会及び市政に期待すること(抜粋)

- もっと若い人も議会などに加わって、様々な年代の人が意見を出し合えるようになってほしい。
- スマホをもっと利用して若者を取り入れてほしい。
- もっと大分市の住みやすさが向上するような政策を考えてほしい。

令和3年度 若年層との意見交換を実施しました

大分市議会では、平成23年度から若い方々の政治参加意識を喚起することを目的に、高校、大学(短期大学)、専門学校と意見交換を実施しています。

今年度は、令和3年10月12日、13日の2日間、爽風館高校の学生と意見交換を行い、様々な御意見・御質問をいただきました。

一般質問

市民の声を反映

第4回定例会では、24名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。

なお、各議員の未掲載の質問等は、インターネットの会議録や、下記のQRコードから録画中継を御覧になれます。



都市公園内にあるグラウンドの利用等について

自由民主党 長野 辰生

質問

現在、本市の都市公園内にある有料グラウンドの利用は大分市都市公園条例に規定されているが、有料の照明付グラウンドを冬季も夜間利用ができるよう調整するとともに、市民ニーズに対応して条例で規定されているもの以外のスポーツもできるようなグラウンドの利用用途を拡大してはと考えるが、見解は。

企画部長

グラウンドの夜間照明の使用期間の延長については、施設近隣住民の理解と協力が不可欠であり、地域の特性等を踏まえて多様な利用者ニーズに対応できるように検討する。また、用途については、基本的には定められた用途以外での利用は困難であるが、利用者や各種競技団体等の意見を参考に、利用者ニーズに即した整備・運用を行っていく。

企業版ふるさと納税の事業内容見直しを

自由民主党 穴見 憲昭

質問

企業版ふるさと納税は令和2年の税制改正後、全国的に寄附件数・金額ともに増えており、自治体の財源確保の重要ツールである。全国の多くの事業の中、特徴のある事業名・内容、地域の独自性が見える事業に寄附が集まる傾向となっていることから、本市も「郷土文化」や「地産商品」などを活用した事業を全面に押し出して寄附件数・金額の増加につなげていくべきと考えるが見解は。

企画部長

現在ホームページに掲載している10事業は令和2年度に寄附対象事業が拡大し、企業の際に参考となるよう、多岐にわたる事業の中から事例として提示している。今後は寄附実績の効果検証を行い、より効果的な手法を検討していく。

デジタル化を見据えたマイナンバーカードの普及促進を

公明党 国宗 浩

質問

マイナンバーカードの交付枚数が、5千万枚を超えた。政府は2022年度末までにほぼ全ての国民に行き渡るようにすることである。マイナポイント事業の

効果を一層発揮できるようなマイナンバーカードの普及促進の効果的な交付方法を検討してはと考えるが見解は。

市民部長

本市では、市民課・各支所で行ってきた申請補助サービスに加え、本年7月に市内の商業施設等に出張窓口を設置した。また、カードに対する交付ニーズが休日が高いことから、市民課や各支所で毎月1回開設の休日窓口には多くの方が利用している。令和4年2月から大分オーパ2階に大分市マイナンバーカードセンターを開設する予定であり、利便性向上とカードの普及促進を図っていく。

地域コミュニティ創造事業について

社会民主クラブ 甲斐 高之

質問

地域コミュニティ創造事業の一環である、地域デザインの学校の立ち上げの経緯、行政としての支援、そして地域コミュニティ創造事業の今後の在り方を聞く。

市民部長

平成29年度から地域の住民を対象に、まちづくりや地域活動の手法を学ぶとともに、地域活動を企画し実行する人材の育成・確保を図ることを目的に、地域デザインの学校を実施し、受講生と地域がつながる機会を設けるほか、資金面の支援として、1%応援事業の補助金を紹介し、活用していただいている。来年

度は、地域デザインの学校の効果を検証するとともに、他都市の状況も参考に、本事業が新たな地域活動の担い手の発掘や育成の手法として、より効果的な事業となるよう検討していく。



地域のためにできることを考える
(地域デザインの学校 in 坂ノ市・佐賀関)

団地内の商業施設撤退後の土地利用について

社会民主クラブ 松下 清高

質問

団地内にある近隣商業地域にあった商業施設の撤退後の状況について、4年前に一般質問を行ったが、その後の対応について聞きたい。

都市計画部長

本市において、団地内にある近隣商業地域は19か所、そのうち13か所でショッピング

センターなどの商業施設が建設されたが、その後、9か所で撤退した。昨年度から、この撤退箇所を含む19か所全てを対象に、土地利用状況をはじめとして、空き家率、店舗や病院などの生活利便施設の立地状況などの調査を行うとともに、地域が抱える「商業系の土地利用がなされていない」、「低未利用地が発生している」などの課題の解決に向けて、地元の自治会と協議を始めたところである。

西大分エリアの今後の観光振興は

自由民主党 進 義和

質問

大分市観光戦略プランは今年度末までとなっているが、本プランにおいて本市観光の重要な位置づけとなっている西大分エリアの今後の取組を聞きたい。

労働観光部 商工

令和4年3月の食や歴史、温泉などを歩きながら楽しむONSSENガストロノミーウォーキング、令和5年に開園70周年を迎える高崎山自然動物園の記念イベントの開催など、にぎわいづくりや情報発信に取り組み、さらなる誘客に努めていく。また、今後整備が予定されるホーパークラフトターミナルなどは、新たな観光スポットや国内外からの観光客の玄関口となることが期待されており、新たな魅力の活用と既存施設等と

の連携を図り、さらなる魅力の向上と誘客促進に取り組むこととしている。



令和5年で開園70周年を迎える高崎山自然動物園

ウィズコロナ期における事業所等への支援は

社会民主クラブ 帆秋 誠悟

質問

新型コロナウイルス感染症の第6波がいつ来るかわからない状況の中、ウィズコロナ期のように実施していることと考えているのか聞きたい。

労働観光部 商工

現在、全国の新規陽性確認の件数は低い状況が続いている一方、海外において感染拡大が報じられている新たな変異株が国内

でも確認されるなど、いまだ予断を許さない状況であることから、事業所等に対する事業継続に向けた支援は必要と認識している。本市としても、新型コロナウイルス感染症の影響等、本市経済の状況及び国の施策等を注視するとともに、各方面の方々の意見を聞きながら、必要な支援策を迅速かつ的確に行っていく。

ひとり親家庭に家賃支援を

立憲民主クラブ 宇都宮 陽子

質問

厚生労働省の平成28年度全国ひとり親世帯等調査から、特に母子世帯の深刻な状況が見えてくる。統計データによると、母子世帯の就業者のうち43・8%が非正規雇用で、平均年間就労収入は133万円となっており、コロナ禍による悪化を危惧する。孤独感を抱え孤立するひとり親の心のケアや経済的な支援は欠かせず、支出の中で大きな比重を占める家賃に対し、補助制度のある他市のように何らかの手だてができないか。

子育て支援部 子ども

現在、ひとり親家庭への家賃補助の制度はないが、要件に合えば母子・父子・寡婦福祉資金貸付制度で転宅資金の貸付けを行っている。今後、家賃補助についても、関係課と連携し、先進事例の調査研究をしていきたい。

出産祝い金等の施策の創設を

社会民主クラブ 宮邊 和弘

質問

出産祝い金等の施策を創設し、支援を行うべきだと考えるが見解を聞きたい。

子育て支援部 子ども

本市では過去に第3子以降を産出した方に祝い金を交付する出産奨励金交付事業が廃止された経過もあることから、その効果等について、慎重な判断が必要と考えている。子供を安心して産み育てるための支援は、妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援を行うことが大変重要であると考えており、子育て家庭への経済的負担の軽減をはじめ、保育環境の整備や子育て相談の充実、児童虐待への対応など、施策の優先度や効果等を総合的に勘案しながら、子育て支援施策のさらなる充実に向け、引き続き調査研究していく。

支援を必要とする子供への取組は

公明党 川邊 浩子

質問

公立幼稚園において、発達年齢に比べ落ち着きがないなど支援が必要な子供を受け入れる可能性が高くなったと考えるが、教職員の配置や障がいの特性などを学ぶ

研修等の取組はどのようになっているのか。

子ども部長
すか 子やか

公立幼稚園では、教育委員会
の定めに準じて、障がいの子
種別や発達の状況等を踏まえ、
特別支援学級の設置を行っている。ま
た研修の取組については、国の幼稚園
教育要領などを活用し、全ての教職員
が障がいに関する正しい理解と認識を
深め、障がいのある幼児やその保護者
に対する組織的な対応ができるように
していくことが重要と考えており、
個々の幼児の障がいに応じた適切な指
導を行うことができるよう研さんに努
めている。

交通安全対策
事業費について

公明党 今山 裕之
いまやま ひろゆき

質問

交通安全対策事業費の予算が
不足していると聞いているが、
予算編成をどのように考えて
いるのか。また、来年度を見据えた今
後の対応について見解を聞きたい。

財務部長

交通安全対策事業費について、
本年度は、6月に発生した千
葉県八街市での児童死傷事故
をはじめ、全国各地での交通事故の報
道などにより、地域からの要望箇所が
増加し、現計予算では対応しきれない
状況となっている。今後は、担当課に
おいて緊急度などを勘案しながら、予
算流用などにより危険箇所の解消に努

めていきたい。また、来年度予算につ
いては、新年度予算編成作業の中で、担
当課の意見を聴きながら、適切に交通
安全対策事業費の予算確保に努めてい
く。

水道水の安全性確保は

無所属 岩川 義枝
いわがわ よしえ

質問

毎日の生活に欠かせない水道
水の安全性をどのように確保
しているのか。見解を聞く。
河川水等の原水、浄水などに
対する検査項目、採水の場所
検査の回数及びその理由など
を記載した水質検査計画を毎年度策定
している。10か所で採水される原水に
は、農薬等を含め最大で200項目にわ
たる月1回の定期検査を行い、また、浄
水場上流のダム湖や河川のプラント
ン調査結果や水質変動に応じて随時検
査を追加している。8つの浄水場では
沈砂池で土や砂を落とし、凝集処理、砂
ろ過処理を経て消毒を行っている。浄
水処理の状況によっては薬品の注入率
を調整し、その水質は職員や水質監視
装置による常時監視を24時間365日
行うことで安全性を確保している。

公営住宅間での住み替えの
ための条例改正を

日本共産党 斉藤 由美子
さいとう ゆみこ

質問

これまで、市営住宅の空き戸
対策や入居要件の緩和等を求
めてきたが、近年、高齢世帯
が増えている。現在、市営住宅から県
営住宅への住み替えを希望する相談
が増えている。現在、市営住宅から県
営住宅への住み替えは可能だが、県営
住宅から市営住宅には住み替えがで
きない。特に、隣接している公営住宅間
での住み替えは要望が多く、迅速な対
応が望まれることから、大分市営住宅
条例を改正すべきと考えるが見解は。

土木建築長
土部

令和2年度に改定した大分市
公営住宅等長寿命化計画では、
県と連携すべき事項として、
「身体状況等を考慮した住み替えを掲
げ、一定の条件のもとで県営住宅から
市営住宅への住み替えを可能とする」
こととしており、今後は、入居要件の
見直しに向けた検討を行っていく。

橋梁点検における新技術の
活用について

公明党 泥谷 郁
ひじや かずむ

質問

本市が実施したドローンなど
の新技術を活用した橋梁点検
の実証実験の効果及び今後の
取組について聞きたい。

土木建築長
土部

実証実験の結果、構造物の損
傷状態の把握が、近接目視と
同等程度の点検結果が得られ
るコスト面で、点検項目の一部で優位

性が確認された。また、交通規制が不
要となるため、時間的損失の社会的影
響の軽減や点検員の安全性の確保、人
員不足の補填など一定の効果を確認さ
れた。今後の取組については、増大す
るインフラ点検を効率的・効果的に
行うためには、ドローンなど新技術を活
用した橋梁点検の推進が重要であるこ
とから、今後も引き続きインフラ点検
における新技術の活用を検討していく。



ドローンで橋梁点検を効率化

集合住宅の水道料検針方法
切替えに関する見解は

無所属 堤 英貴
つるみ ひでき

質問

分譲マンションなどの一部の
集合住宅は、上下水道局が建
物全体の使用水量を一つの

メーターで検針する一括検針だが、設備所有者からの申請により、各戸ごとにメーターを検針し、入居者に直接料金を請求する各戸検針に切り替えることも可能と認識する。本市の見解は。

水道事業者 現行、分譲マンションは一括検針のみであり、検針方法の切替えができないこととなっているが、各戸検針は、各入居者の使用水量に応じた料金を直接徴収することによる料金の分かりやすさや、管理組合等による検針や請求の負担軽減等の利点もある。今後、管理組合等からの要望があり、全所有者の同意があれば、分譲マンションを各戸検針の対象とすることを検討していく。

整備が困難な通学路の安全対策は

新市民クラブ 佐藤 睦夫

質問 令和3年7月に実施した通学路の緊急点検並びに例年の点検で抽出された市内146か所の危険箇所のうち、整備が困難な通学路の安全対策はどのように行うのか。

教育部長 各学校では、危険箇所を避けるための通学路の変更を検討するほか、児童生徒を集めて注意を呼びかけるなど、交通安全指導の徹底を図っている。また、保護者や「こども見守りボランティア」等の協力を得ながら、見守り活動の強化や、ド

ライバーに通学路であることを周知するための看板を設置するなどの対策を実施している。今後とも、道路管理者や警察等の関係機関と連携し、道路環境の改善を図るとともに、保護者や地域関係者の協力を得ながら、登下校の安全確保に万全を期していく。



ボランティアによる登校時の見守り活動の様子

医療的ケア児と家族を支える自治体の責務について

無所属 衛藤 延洋

質問 医療の進歩により、日本は新生児の死亡率が世界一低い国となった。一方で、退院した後も人工呼吸器や胃瘻等を使用し、経

管栄養やたん吸引等が日常的に必要な

「医療的ケア児」は年々増加している。家族は医療的ケア児から目が離せず、心身の疲労や葛藤も浮き彫りとなっている。医療的ケア児支援法も成立し、医療的ケア児と家族を孤立させることなく、社会全体の理解と支援が自治体の責務として求められているが見解は。

保健福祉部 保健、医療、教育等各分野の関係団体に対し「医療的ケア児を社会全体で支えること」の重要性について理解を広めるとともに、市民に対しても、医療的ケア児とその家族が孤立することなく、身近な場所で行えるよう周知を図っていく。

時効を迎えた高額介護サービス費の現状は

公明党 橋本 敬広

質問 高額介護サービス費は利用者の負担上限額を超えた場合に、申請により払戻しが行われるサービスで、2年の時効が経過すると受け取りができなくなる。時効を迎えた件数と金額は年間どのくらいか。また、最初の申請を案内する際に申請書の送付を行うべきと考えるが見解は。

保健福祉部 平成30年度に高額介護サービス費に該当した65,555件、7億5,514万2,155円のうち、16,056件、1億4,464万8,681円が未申請のまま令和2年度に時効となった。初回通知

時の申請書同封については、現在のお知らせに加え、申請書を送付することで、申請の出し忘れを防ぎ、支給率向上につながるかと考えられることから、早期に開始できるように検討する。

災害時のSNS上の情報の取扱いについて

自由民主党 牧 貴宏

質問 東日本大震災以降、SNSが人命救助に役に立ったと注目を浴びた。しかし、個人が発信した情報には根拠がないものもあり、見ている人を混乱させることもある。SNSの情報を一元化し、信頼できる情報の収集及び発信方法について、考え方を聞きたい。

総務部長 地域防災計画に基づき、寄せられる全ての情報を、災害対策本部で一元的に集約管理している。災害時等には、大分市防災メールなどを活用して正確かつ迅速な情報発信に努めている。情報収集については、発災直後からSNS上で氾濫する情報から有益な情報を選別し、適切な救助・支援へとつなげるため、AIによる情報分析システム等を試験的に活用し、SNS上の情報収集をしている。

新型コロナウイルス感染症対応の保健所職員の増員を

日本共産党 福岡 健治

質問

コロナ危機で膨大な業務量が押し寄せ、感染者をつかむことなどができなくなった。第5波への対応では、保健所の体制は現在の職員では対応できず、他部署からの派遣、臨時採用、業務委託などで切り抜けてきたが、正規職員は過労死寸前の超過勤務となっている。今後、正規職員の増員は避けて通れない課題であると考えるが、見解は。

総務部長

業務量増加に対応するため、正規職員を令和3年から保健師5名、事務職2名増員した。またワクチン接種事業では事務職を計15名順次増員してきた。保健所職員の負担なども鑑み、新年度に向け保健師や臨床検査技師の採用を予定しており、引き続き保健所の体制強化に努める。

重要土地等
調査規制法について

社会民主クラブ 安東 房吉

質問

国会で重要土地等調査規制法が強行採決された。安全保障上重要とみなす自衛隊基地等の重要施設の周囲1キロメートルを内閣総理大臣が注視区域に指定すれば、区域内の土地や建物の利用者などについて調査できる。個人情報保護との関連において、人権侵害が起きる可能性があるのではないかと考えるが見解は。

総務部長

注視区域の指定が行われた場合における地方公共団体の長が提供する情報については、「注視区域内にある土地等の利用者その他の関係者に関する情報のうち、その者の氏名又は名称、住所その他政令で定めるもの」と本法律に規定されているが、この政令はまだ制定されていないことから、今後とも、個人情報保護の観点も含め国の動向を注視していく。

学校プールの
今後の整備方針は

自由民主党 倉掛 賢裕

質問

令和6年4月開校予定の(仮称)大在東小学校では、学校プールの建設は行わず、水泳の授業を民間のスイミングクラブに委託することを計画している。本市学校プールの今後の整備方針は。

教育部長

民間プールの活用については、受入れ可能な施設の有無や、児童生徒の安全な移動手段、教育課程の編成などの課題はあるが、専門指導員による泳力の向上や天候等に左右されない計画的な授業の実施、維持管理に係る教職員の負担軽減など、多くの効果が期待できるものと認識している。今後は既存の学校においても、民間プール等の活用を含めたプールの在り方を柔軟に検討するとともに、学校ごとの状況を総合的に判断した上で

施設整備を行っていききたい。

障がいグレーゾーン対象児の
見守り体制づくりは

無所属 井手 口良一

質問

障がいグレーゾーンに置かれている子供とその保護者を支援するための、見守り体制づくりは怎么样了か。

保健
福祉部

発達に障がい疑われる子供については、障がい者手帳を所持していなくても、障がい児に対するサービスが提供できるよう配慮している。また、医師の診断が確定する前の子供については、本市独自の取組として、臨床心理士、保育士、言語聴覚士、作業療法士等の専門職が各家庭のほか、保健所、鶴崎・植田の市民行政センターなどを訪問して相談対応、療育指導を行う大分市障がい児地域療育等支援事業を実施している。こうした取組を推進することによって、グレーゾーンと言われる子供への支援と保護者の不安の払拭に努めていく。

イエロッドッグプロジェクト
を広める取組を

立憲民主クラブ スカルリーパー・エイジ

質問

イエロッドッグプロジェクトは、犬のリードや首輪等に黄色いリボンをつける取組で、この黄色いリボンには、飼い主以外の

人や犬に対して「近づかないでほしい」という意味が込められており、人懐かなかつたり、おびえてかんでしまったり、健康上の理由があるなど、ストレスを与えてほしくないという目印である。本市もこのプロジェクトを広める取組をしてはどうか。

保健
福祉部

イエロッドッグプロジェクトは、犬が人をかんでしまう事故や犬同士のトラブルの防止に役立ち、飼い主のマナーや耳が聞こえにくい人などにも大変有効的な取組であると考えられる。今後は、狂犬病予防注射の会場や各種イベント、ホームページ等で御案内していきたい。



黄色いリボンを見かけたら、そっとしておいてね

連載企画⑳



STEP UP

知っちょん? 議会あれこれ

ステップアップ 市議会だより

若年層との意見交換について

Q1

若年層との意見交換って？

A1

大分市議会では、平成23年度から若年層の政治参加意識を喚起することを目的に、高校、大学（短期大学）、専門学校等の若い世代の皆さんとの意見交換を定期的実施しています。

Q2

これまでどんな学校と意見交換してきたの？

A2

過去の実績は次のとおりです。（直近5年間のみ抜粋）

年度	高校		大学	専門学校
平成29年度	大分工業高校	大分上野丘高校	日本文理大学	IVY総合技術工学院
平成30年度	大分東高校	岩田高校	大分大学	田北調理師専門学校
令和元年度	爽風館高校	大分支援学校	芸術文化短期大学	大分経理専門学校
令和2年度	爽風館高校		未実施	
令和3年度	爽風館高校		芸術文化短期大学	未実施
			大分大学	

※令和2～3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により一部未実施

※令和3年度の芸術文化短期大学・大分大学は議会モニター制度の一環として実施

Q3

ほかにも若年層を対象とした取組はしているの？

A3

議会の傍聴や議員との意見交換を行う「若年層に特化した議会モニター制度」を実施しています。また、現在、議員政策研究会において、「(仮称)大分市若者参画条例」の制定に向けて調査研究を行っています。

2～3ページに
議員政策研究会の活動経過や
議会モニター制度の概要、
10月に実施した爽風館高校との
意見交換について
掲載しているよ！



たかもん

常任委員会 審査結果

令和3年第3回定例会から継続審査となっていた請願・陳情並びに、令和3年第4回定例会に上程された議案、陳情について各委員会で審査した要旨は、次のとおりです。

総務常任委員会

消防指令業務に係る 事務の受託の協議等を審査

当委員会は、予算議案4件、一般議案24件及び継続審査中の請願1件を審査した。

一般議案のうち、事務の受託の協議については、旧荷揚町小学校跡地に整備する高機能消防指令センターにおいて全県下で消防指令業務を共同運用するため、消防指令業務に係る事務を11市1村及び2消防組合からそれぞれ受託しようとするものであり、いずれも異議なく原案を承認した。

また、大分市職員の退職手当支給条例の一部改正については、一般財団法人高崎山管理公社を退職して大分市職

員となった者に係る退職手当の算定について、経過措置を定めようとするものであり、異議なく原案を承認した。

厚生常任委員会

大分市公衆浴場法施行 条例の一部改正等を審査

当委員会は、予算議案3件、一般議案2件、陳情1件及び継続審査中の陳情1件を審査した。

予算議案のうち、令和3年度一般会計補正予算については、事業費の確定に伴う国庫負担金等精算返還金のほか、新型コロナウイルス検査体制の強化など救急医療対策に係る経費や人件費などの計上であり、審査した結果、一部反対意見があったが、原案を承認することに決定した。

一般議案のうち、大分市公衆浴場法施行条例の一部改正については、公衆浴場における風紀を保つため、男女の混浴制限年齢を引き下げようとするものであり、審査した結果、異議なく原案を承認することに決定した。

文教常任委員会

ふれあい交流宿舎 のつはる西部の楽校条例の 制定等を審査

当委員会は、予算議案1件、一般議案5件及び継続審査中の請願2件を審査した。

一般議案のうち、大分市ふれあい交流宿舎のつはる西部の楽校条例の制定については、旧野津原西部小学校跡地に整備する宿泊型社会教育施設の設置及び管理について必要な事項を定めようとするものであり、異議なく原案を承認することに決定した。

また、大分市立小学校設置条例の一部改正については、人口の増加が見込まれる大在中学校区において適正な学校規模を保持するため、大在東小学校を設置しようとするものであり、審査した結果、異議なく原案を承認することに決定した。

建設常任委員会

開発行為の許可の基準に 関する条例の制定等を審査

当委員会は、予算議案3件、一般議案5件及び継続審査中の陳情1件を審査した。

一般議案のうち、公の施設に係る指定管理者の指定については、市営住宅等に係る指定管理者の指定をしようとするものであり、委員から「現在、本市が管理している住宅の管理を指定管理者に委託する予定はあるのか」など

の質疑等が出された。審査した結果、異議なく原案を承認した。

また、大分市開発行為の許可の基準に関する条例の制定については、公園整備の適正化を図るため、都市計画法及び都市計画法施行令の規定に基づき、開発行為の許可の基準に関し必要な事項を定めようとするものであり、審査した結果、異議なく原案を承認した。

経済環境常任委員会

高齢者等世帯に対するこみ 出し支援に係る経費等を審査

当委員会は、予算議案2件、一般議案2件を審査した。

予算議案のうち、令和3年度大分市一般会計補正予算については、高齢者等世帯に対するこみ出し支援に係る経費の計上などであり、委員からは「事業実施以降も、こみ出し支援の対象者や内容等を常に確認しながら、市民に寄り添うような見直しを行ってほしい」などの質疑、意見が出された。審査した結果、異議なく原案を承認した。

また、一般議案のうち大分市高崎山自然動物園条例の一部改正については、大分市高崎山自然動物園の管理について、指定管理者制度を廃止する等の改正をしようとするものであり、審査した結果、異議なく原案を承認した。

令和3年第4回定例会 議決結果

議案番号	件名	議決結果
議員提出議案		
議員提出議案第2号	大分市議会会議規則の一部改正について	可決(全員)
予算議案		
議第126号	令和3年度大分市一般会計補正予算(第4号)	可決(多数)
議第127号	令和3年度大分市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議第128号	令和3年度大分市財産区特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議第129号	令和3年度大分市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議第130号	令和3年度大分市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議第131号	令和3年度大分市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議第132号	令和3年度大分市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)
議第133号	令和3年度大分市水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議第134号	令和3年度大分市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決(全員)
議第173号	令和3年度大分市一般会計補正予算(第5号)	可決(全員)
一般議案		
議第135号	大分市開発行為の許可の基準に関する条例の制定について	可決(全員)
議第136号	大分市ふれあい交流宿舎のつる西部の築校条例の制定について	可決(全員)
議第137号	大分市支所設置条例の一部改正について	可決(全員)
議第138号	大分市職員の退職手当支給条例の一部改正について	可決(全員)
議第139号	大分市手数料条例の一部改正について	可決(全員)
議第140号	大分市児童福祉施設等に関する条例の一部改正について	可決(全員)
議第141号	大分市公衆浴場法施行条例の一部改正について	可決(全員)
議第142号	大分市国民健康保険条例の一部改正について	可決(全員)
議第143号	大分市国民健康保険税条例の一部改正について	可決(全員)
議第144号	大分市高崎山自然動物園条例の一部改正について	可決(全員)
議第145号	大分市立小学校設置条例の一部改正について	可決(全員)
議第146号	公の施設に係る指定管理者の指定について	可決(全員)
議第147号	公の施設に係る指定管理者の指定について	可決(全員)

議案番号	件名	議決結果
一般議案		
議第148号	公の施設に係る指定管理者の指定について	可決(全員)
議第149号	公の施設に係る指定管理者の指定について	可決(全員)
議第150号	公の施設に係る指定管理者の指定について	可決(全員)
議第151号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第152号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第153号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第154号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第155号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第156号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第157号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第158号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第159号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第160号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第161号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第162号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第163号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第164号	事務の受託の協議について	可決(多数)
議第165号	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域内の住居表示の方法について	可決(全員)
議第166号	工事委託契約の締結について	可決(全員)
議第167号	工事請負契約の締結について	可決(全員)
議第168号	工事請負契約の締結について	可決(全員)
議第169号	工事委託契約の変更について	可決(全員)
議第170号	市道路線の認定及び廃止について	可決(全員)
議第171号	損害賠償請求事件に関する和解について	可決(全員)
議第172号	損害賠償の額の決定並びに示談について	可決(全員)

請願・陳情 審査結果

番号	題名	結果
新たに提出されたもの		
令和3年陳情第5号	大分市認可外保育施設における第2子以降の保育料無償化を求める陳情	継続
継続審査中のもの		
令和3年請願第3号	安心・安全な教育環境のための少人数学級を求める意見書提出方について	継続
令和3年請願第6号	伊方原発3号機の再稼働に反対する決議方について	撤回

番号	題名	結果
継続審査中のもの		
令和3年請願第7号	児童生徒の健康と学習権が守られるために、生理用品を学校施設のトイレへ配備することを求める請願	継続
令和3年陳情第1号	新型コロナウイルスワクチン接種実施に際しての公正な情報提供と選択の自由の保障に関する陳情	継続
令和3年陳情第3号	市営廻り住宅跡地を多目的広場として活用するための施設整備に関する陳情	継続

